

## 文部科学大臣賞受賞「子どもの読書活動優秀実践校」

この度、本校の言語能力向上推進校としての取組が認められ、文部科学大臣賞「平成24年度子どもの読書活動優秀実践校」として表彰されました。

表彰式は4月23日（月）13:00～、国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールにおいて、平成24年度子ども読書の日記念“子ども読書推進フォーラム”の中で行われました。

これは、「子ども読書の日」（4月23日）を記念し、子どもの読書活動の推進に関する法律第10条第3項に則り、フォーラムを開催し、子どもの読書を推進する活動が顕著に優秀と認められる学校、図書館、読み聞かせ団体等に対し文部科学大臣表彰が授与されます。今回の表彰は、都内国公私立中学校の中で、本校1校が選ばれました。



### ★受賞理由

落合中学校の一日のスタートは、読書の時間からである。子どもたちは自ら持参する本、図書室、学級文庫、校長室文庫から持ち寄る。授業での活用は、国際理解教育、社会科のディベート学習理科の実験、国語科の狂言学習、英語科の団体ゲーム、ユニバーサルデザイン学習など学校図書室のみならず市立図書館より団体貸し出しを多く活用している。司書並びにPTAの組織の図書ボランティアなどのスタッフが常駐し、生徒の図書委員会とともに新刊図書紹介、図書室だよりの広報、貸出、書架整理業務の他、季節感のある図書室展示、装飾を心がけている。また、特別支援学級の国語の時間の読み聞かせ（週3回）、全校生徒対象の図書室オリエンテーション、読書相談、リーディング表彰、卒業時の図書記念品の贈呈などを実践している。図書の貸し出し数も年々上昇しており、年間の貸し出し数が3500冊前後でこの2年間推移している。平均すると生徒一人月一冊程度の貸し出し数である。学校の目標数値とほぼ一致している。こうした日常的な活動を基盤とした成果として、平成22年3月2日に来校したOECD事務総長からも高い評価を受けた。さらに平成23年度より東京都教育委員会「言語能力向上推進校」に指定され、平成24年度から完全実施となる新たな学習指導要領完全実施に向け、先駆けた各教科での言語活動を主眼にした授業研究・展開を推進している。教育活動全体を通し、言語活動の基軸である生徒の思考・判断・表現力の育成に努めている。授業の工夫・改善では「発言・朗読・音読など」や「ディベート」「感想、レポート」等を重視し図書館活動と合わせ、取り組み一つ一つを目標化し、積み上がる授業を展開している。また、学習成果を演劇にして伝え合う取組、「語彙力強化ノート」の実践や「教科カウンセリング週間」などの実践がある。

そして平成23年度から財団法人文字・活字推進機構による「言語力検定」試験も実施した。その合格率も75%が希望級に合格し、主催機構の合格平均値を大きく超えた。各種言語力を活用したコンクールへの組織的参加や入賞者についても別紙資料の通りである。特筆すべき取り組みとしては、東日本大震災の被災地に子どもたちが各家庭から持ち寄った書籍にメッセージを添え贈呈できたことは、子どもたちの活動として高く評価できる。